

CONTENTS

地域発NEWS	1~4
国有林野所在市町村の魅力紹介	5~6
特集コーナー	7
使える！ 行政情報&	8
研究・技術の参考情報	
地域のこの人	9
東北森林管理局の管内で	10
予定されているイベント情報	



蔵王山中の瀑布のうち、最も規模の大きな滝で、高さ53.5m、幅16m、滝つぼ32mあります。水量が多く、深山の中の滝といった趣があり、数多くの文人墨客に親しまれています。

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

クロマツ探検隊

朝日庄内森林生態系保全センター

山形

当センターは、「みどりの保育園推進事業」の一環として、西荒瀬保育園（酒田市）の園児たちと一年を通して、様々な森林体験を行っています。

第一段は4月にきのこの駒打ち体験をし、第二段は5月11日に、年長組の園児たちと保育園に隣接するクロマツ林（国有林）を探検し、野に咲く花やサギの営巣コロニーなどを観察しました。

当日は、探検には絶好の天気で、みんなで元気に声を出してクロマツ林に向けて出発しました！途中、森の中に咲く野の花を観察しながら歩き、ツルニチニチソウ、カキドオシ、アマドコロ、ウラシマソウなどたくさんの野の花を見ることができました。特にウラシマソウの変わった形に、園児たちは興味津々だったようです。

森の中の植物はきれいなものばかりではなく、なかには危険なものもあります。今回は、触るとかぶれて非常にかゆみを伴うこともあるウルシ、ヌルデを発見し、園児たちに決して触らないよう注意を呼びかけました。

探検隊はさらに進み、クロマツの高木に作られたサギの営巣コロニーを観察しました。双眼鏡や望遠鏡の先の、サギの巣やその中で育つヒナの姿に「見えた！見えた！」と歓声が上がりました。

一所懸命に命を繋ぐサギの親子の姿など命や森林の大切さを感じてもらえた探検隊でした。



望遠鏡でサギの営巣コロニーを観察

森吉山麓高原外来植物防除事業について

米代東部森林管理署上小阿仁支署

秋田

当支署では、国指定森吉山野生鳥獣保護区内における外来植物防除事業（オオハンゴンソウ防除活動）に関係機関と連携しながら取り組んできました。

本年度においても、8月20日に開催されたNPO法人冒険の鍵クーン主催の防除事業に、当支署から支署長ほか若手職員5名が参加しました。

NPO法人冒険の鍵クーンは、国民の森林づくりや森林環境保護に功労のあった者として令和3年度に東北森林管理局長より感謝状を贈呈されており、森吉山のフィールド活動と自然保護に力をいれている団体です。

当日の防除事業は、外来種の侵入が著しい道路沿い約200mの区間で行いました。株の引き抜き・集積の単純な作業でしたが、連日の猛暑に加えオオハンゴンソウの根が予想以上に張っていて、想像以上に大変な作業となりました。2時間で軽トラック4台分位の量になり繁殖力の強さにも驚かされたところでした。



オオハンゴンソウの防除作業の様子

今後においても主催者、環境省、森吉山岳会等関係機関と連携しながら森吉山麓高原周辺の生態系に影響を及ぼしている外来植物の防除について地域の活動として取り組んでいきます。

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

三陸沿岸の最高峰・五葉山を楽しむために

岩手

三陸中部森林管理署

五葉山は大船渡市、釜石市及び住田町の2市1町にまたがる標高1,351mの山です。コメツガとヒノキアスナロ（ヒバ）を主とする天然の樹木と、この地域の固有種ゴヨウザンヨウラクなどの貴重な植物が生育しています。そのため、原則として人手を加えず自然の推移に委ね、森林を後世に引き継ぐため保護林に設定しています。また、五葉山県立自然公園にも指定されています。



登山道から鷹生ダムを望む

五葉山には5つの登山コースがあり、各市町でロープの張り替えなどの整備を実施し、当署でも必要に応じ、強風などによってコース上に倒れた木を切ったり脇に寄せたりしています。また、整備がより実施しやすくなるように、現在、コースを関係市町に借り受けしていただくことで話し合いを進めています。

近年はドローンによる撮影を目的に国有林に入林する方も増えています。登山などの目的で国有林に入林する場合、手続きは不要ですが、ドローンを飛行させる場合は入林届の提出が必要です。余裕を持った日程で手続きをしていただき、安全な飛行のためのガイドラインを守った上で四季折々の風景を楽しんでいただければと思います。

入林届などについて不明な点があれば遠慮なく当署にお問合せ下さい。

伐って、使って、森林を守る

秋田

秋田森林管理署湯沢支署

ナラ枯れとは、カシノナガキクイムシ、通称カシナガが運ぶ「ナラ菌」により、ナラ類が集団で枯れる木の伝染病です。近年全国的に被害が拡大し、ここ秋田県南地方も深刻な被害を受けており、当支署では「おとり丸太」によるナラ枯れ対策に取り組んでいます。

おとり丸太とは、ナラの丸太に誘引剤でカシナガをおびき寄せ、一網打尽に駆除する方法です。今年度は、約300本のナラ枯れ被害を防いだと推計されています。

でも、ナラを守るためにナラを使うなんて、本末転倒だと思いませんか？実は、ナラは切株から新たな芽を伸ばす「萌芽」という能力がとて高く、伐採することでナラ林の若返りが図られます。

昔は、薪や炭の原料として、定期的にナラ林を伐採していたため、自然とナラ林が若返っていました。カシナガは年老いたナラを好むと言われていたので、若返りにより、ナラ枯れを防いでいたのです。そう考えると、人間も森林生態系の一部として役割を担っていたのかもしれない。

今回おとり丸太に使ったナラは、紙などの原料として再利用されます。薪や炭の原料として使われることは少なくなりましたが、新たな「伐って、使って、森林を守る」サイクルが地域に定着することを願い、今後も取組を続けていきます。



カシナガを一網打尽！「おとり丸太」

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

自然災害に備えて

由利森林管理署

秋田

近年、豪雨等による山地災害や林道災害が日本の各地で多発しています。こうした災害が署管内で発生した場合、規模によっては署全体で迅速に対応する必要があります、そのような事態に備えるため、署の林道担当者等を講師として、若手職員や森林官等を対象に被災林道の調査方法等についての研修を10月5日に実施しました。

被災箇所の写真撮影の良い例・悪い例や留意すべき点、災害復旧事業の対象となる要件、現地調査の方法等の説明を受けた後、実際に林道の路体が決壊した現場で、被害状況の把握や被害報告時に必要な調査についてポールや巻き尺、測量機器を使用して実習を行いました。また、林道工事に必要な平面図や縦断面図等の各種図面や用語の説明、レベル測量（高低差や地盤高を測定する測量）やポールを用いた横断測量の実習など、実際に災害調査を行った経験などを踏まえた説明もあり、より実効性のある研修となりました。



路体の決壊現場における実習

参加者からは、「実際に自分でやってみたことにより、災害時において迅速な対応が可能となるため良い経験になった。」との声がありました。幸い今年度は当署においては、大きな自然災害は発生していませんが、発生した際には、国有林及び民有林の復旧を応援できるように、引き続き災害に備えた体制を整えていきます。

飯詰山^{いいづめやま}ヒバ美林誘導林分

津軽森林管理署金木支署

青森

令和5年度に東北森林管理局が主体となり「青森ヒバと秋田スギの美林誘導プロジェクトチーム」が結成され、かつての美林の姿と新たに美林を増やしていくための手法等について、検討・試行するための取組をしています。

その取組として当支署では、管内に「青森ヒバ美林誘導林分」を設定します。令和4年に現地調査したところ、大きなヒバはありますが、将来大きくなる若い世代のヒバの割合が少ないことが分かりました。これは、太陽の光を遮る木が多くあり、ヒバの成長を妨げていたからです。

ヒバの稚樹や若木をさらに増やし、また、現在ある若い世代のヒバの成長を促すためには、太陽の光を遮っている木を伐採することが必要です。

9月には青森ヒバ美林誘導プロジェクトチームによる現地検討会を行い、調査プロット箇所及び搬出方法等の検討や新たな美林の候補地を検討するなど、令和6年度の事業実行に向け取り組んでいくこととしています。



ヒバ美林誘導林分予定地

美林として誘導された青森ヒバの森林が、地域の観光産業や木材産業へ貢献できるよう、青森ヒバの“美林誘導プロジェクト”として取り組んでいきます。

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

山を観察して治山対策を考える

山形

山形森林管理署

山が崩れる原因は大雨だけではありません。冬に積もった雪が、春になって急な気温の上昇などで一気に融けると、大雨が降ったときと同じような状況となり、地盤が緩み崩れやすくなります。冬は深い雪に閉ざされる山形県大江町の渓谷「神通峡」でも、平成30年と令和4年のそれぞれ春に、雪融けによる山崩れが起き、現地の状況に応じて治山事業による対策を講じています。

平成30年の山崩れの際には、渓谷沿いの斜面から崩れ出て遊歩道をふさいだ土砂を取り除くとともに、斜面から下方に移動しようとする土砂を止めるための施設（谷止工）を設置しました。



谷止工

渓谷のさらに上流の遊歩道の対岸で起きた令和4年の山崩れの際には、工事に使う機械や車両が入っていけない場所だったため、斜面や渓谷に崩れ出た土砂や岩石の様子を注意深く観察することにしました。大雨のときには、大きな岩もいくらか下流の方向に動くかと思われましたが、一年を通じてほぼ動きは見られず、流れ出た場所にとどまっていました。この観察は、大江町と協力しながら現在も続けており、観察に基づく現地の様子は地域の皆さんと共有しています。



山崩れ箇所の観察

今回の観察を通じて、予断を持たずにこまめに山の様子を確認し山から学びを得ていくことの大事さを感じました。今後も観察を続けながら、現地に合った治山対策のあり方を見極めていきます。

林業事業体の育成に向けた取組

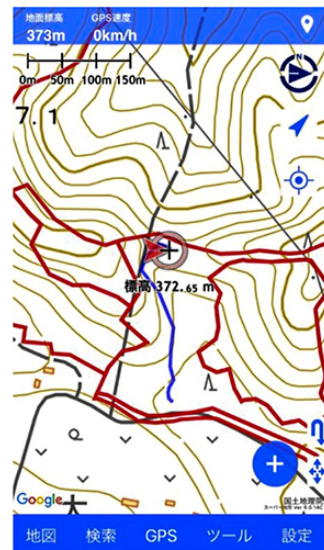
岩手

岩手南部森林管理署遠野支署

日本の人工林の約半数は植栽されてから半世紀が経過し、資源として利用可能な段階を迎えています。間伐や主伐を担う林業事業体の作業量も増え、高性能林業機械の導入などによる効率的な森林施業が求められています。請負事業体の生産性向上を図ることを目的として、今回は、当支署で行っている2つの取組を紹介します。

1つ目は、通常、間伐等請負事業は単年度契約が主ですが、大面積間伐等を対象として複数年契約の発注に取り組んでいます。これにより、請負事業体は複数年分の事業量と収益の見通しを立てられるため、設備投資や新たな雇用の確保がしやすくなり、また重機運搬コストの削減や機械稼働率の向上による生産性の向上が期待されます。

2つ目は、事業体に対し地図アプリの導入を推進し、地図アプリに国有林区域を表示しGPS機能を活用することにより、国有林現地での位置関係の把握を簡易にできる取組も行っています。作業着手前の現地踏査や、森林作業道の路網の検討にも役立つほか、区域確認の参考ともなるため、誤伐防止にもなると考えています。



国有林の区画 (赤線) と行程 (青線) を表示

そのほか施業状況や進捗管理に無人航空機による空撮をし、事業体と共有を図るなど、先進技術を活用した事業実行に取り組んでいます。

今後も、森林の有する多面的機能の発揮と木材の安定供給に向け、制度と技術の両面から林業事業体の育成に努めていきます。

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

秋田



秋田県鹿角市

米代東部森林管理署

鹿角市は、北東北のほぼ中央に位置し、青森県や岩手県と境を接しています。

鹿角市内には、古くから湯治場として愛されている「八幡平温泉郷」、川瀬から湯が沸き出していたことが由来になっている「湯瀬温泉郷」、大湯川沿いに自然沸出し開湯約800年の歴史がある「大湯温泉郷」と3つの温泉郷があります。ま



大湯温泉郷一望写真

た、温泉が多くあることに関連して地熱資源も豊富で、自然の恵み豊かな地域です。

大湯環状列石は、万座と野中堂という2つの環状列石で構成されている縄文時代後期（約4000年前）の大型の配石遺跡です。2021年には北海道・北東北の縄文遺跡群の1つとして世界遺産にも登録されています。隣接する大湯ストーンサークル館では、発見された遺物を実際に見学できる展示ホール



大湯環状列石群

や、大迫力の映像で縄文時代を体感できる「縄文シネマ」、縄文時代の食や土器の手作り体験などができます。



史跡尾去沢鉱山坑道内

開山約1300年の歴史がある尾去沢鉱山は、日本屈指の銅鉱産地として長く産業界を支えていました。1978年の閉山後も「史跡尾去沢鉱山」として近代化産業遺産に登録され、一部鉱山施設や坑道は観光坑道として公開されており、鉱山の歴史

を肌で感じることができます。他にも、砂金採りや天然石堀りなどの体験メニューも楽しめます。

牛や豚のホルモンを独自のタレで味付けし、キャベツや豆腐と一緒にジンギスカン鍋で焼き上げていただく独特のスタイルが特徴的な鹿角ホルモン。そのルーツは、尾去沢鉱山にあると言われており、鉱山の厳しい環境で働く人たちの英気を養うために考案され、広く親しまれ定着したものと考えられています。一度食べたら虜になること間違いなしの鹿角のソウルフードです。



鹿角ホルモン

お問合せ先：鹿角市産業活力課 Tel.0186-30-0248

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

山形

山形県酒田市

庄内森林管理署

酒田市は雄大な庄内平野の中央を流れる最上川の河口に開かれた港町で、平成17年に八幡町、松山町、平田町と合併し、現在、人口約9万6千人、山形県内で人口第3位のまちです。

市域の大部分が庄内平野の平坦地で、日本海と鳥海山の自然に恵まれ、庄内平野で育った良質な庄内米と鳥海山の伏流水で造られる日本酒が特産品です。

庄内と言えばラーメンが有名ですが、魚介系スープが特徴の酒田ラーメンは「月系」と言われているだけあって、市内には暖簾分けした「〇〇月」という店名が多数存在します。あっさりしていてとても美味しく体にも優しいラーメンとの評判から、ラーメン県の山形県内でも人気のラーメンです。

山形県唯一の重要港湾の酒田港と庄内空港を有し、県内外からの観光客も多く、四季を通じて賑わっています。



最上川 (酒田市河口から上流を望む)

酒田港は過去に北前船で栄えた湊町ということもあり、酒田港周辺には米の保存倉庫として使用されていた「山居倉庫」や日本一の豪商と言われた本間



相馬楼 (酒田舞妓の舞踊を鑑賞できます)



家日本邸や美術館のほか舞妓茶屋などがあります。江戸時代、明治時代の建物が多数現存しているので時代をタイムスリップしてみたいかたがでしょうか。また、令和4年9月にオープンしたSAKATANTOは、飲食・物販店、イベントスペース、観光・釣り情報窓口など地域の食と観光をテーマにした交流拠点です。



SAKATANTO (酒田港の倉庫を活用した飲食店)

日本海の沖合に浮かぶ飛島 (面積2.75km²) は、山形県で唯一の離島で、酒田港から日本海沖北西39kmに位置し、酒田港より定期船 (往復4,280円) で片道約1時間15分です。自然が豊かでトレッキングや釣り、バードウォッチャーで賑わう島です。島内には宿泊施設もありますが、朝一の定期船で渡り、最終便で帰港することも可能ですので、市内からのショートトリップを楽しむこともできます。島内の散策は、透明度の高いきれいな海を眺めながら、徒歩又はレンタサイクル (無料) やアシスト付き自転車 (有料) がおすすめです。



定期船とびしま (酒田港～飛島運航)

お問合せ先：酒田観光物産協会 Tel.0234-24-2233

1 ニホンジカの痕跡調査

日本各地の森林生態系に深刻な影響を及ぼしているニホンジカは、白神山地周辺地域においても目撃情報が増えています。赤外線センサーカメラを設置し監視を行っていますが、弘前大学や環境省西目屋自然保護官事務所と連携してニホンジカの痕跡調査を実施しました。冬期の積雪がある中、ニホンジカの痕跡を求めて山野を歩き回り、ついに動物の食痕と糞を見つけお宝を分け合うように採取しました。



写真① ニホンジカの糞を発見・採取

後日、採取した

試料を分析し、現地で弘前大学の先生からニホンジカ等の生態等について話を聞くことで新たな発見が多々あり、森林生態系の保護に役立つ有意義なものとなりました。

2 親子木工教室

毎年、夏と秋の2回、西目屋村にある白神山地ビジターセンター主催のイベント「白神山地ビジターセンターふれあいデー」が開催され、当センターでは、親子木工教室を実施しています。

私たちの木工教室では、木工キットを使って、イスやプランターを作ってもらいます。多くの子供たちは、カナヅチを持つのが初めてで、最初のうちは力の加減が分からず、なかなか釘を打てず、手を叩いてしまうのではないかと心配しました。しかし、少しのアドバイスで、だんだん上手になっていくのは、見ていて頼もしい限りでした。当センターでは、子供達に木に触れてその良さを知って貰うための活動を続けています。



写真② 親子で協力して作業中

3 オオハンゴンソウの駆除作業

オオハンゴンソウは、明治時代に観賞用として北アメリカから輸入され、野生化したものが日本各地に拡大し、現在は、「特定外来生物」に指定されています。白神山地周辺においてもその姿が見られるようになりました。そのため、今年初めて環境省西目屋自然保護官事務所と白神案内山の会・白神歩く会の協力を得て防除作業を実施しました。このオオハンゴンソウは、種子はもちろん、根を残すとそのわずかな根からも繁殖することができます。そこで、種子を付ける前に、根から掘り取るというやり方で駆除をすることとなりました。参加者の皆さんは、額に大粒の汗を流しながら、黙々とオオハンゴンソウを掘り取っていきました。作業後は、掘り取ったオオハンゴンソウの本数と大きさを計測



写真③ オオハンゴンソウの選別・計測

し、今後の対策のための基礎データとし、駆除作業を進めていきます。

今後も当センターは、白神山地を舞台に、関係機関と連携した取組をしていきます。

多様な森林における管理経営について ～管理経営の指針～

国有林の管理経営では、重点的に発揮すべき機能に応じて森林を5タイプに分類し、タイプ別の管理方法を「管理経営の指針」に定めています。

東北森林管理局では、この中で水源涵養機能の発揮を第一とする森林（水源涵養タイプ）について樹種、林木の成長具合、混交割合、主伐する時期等に応じて12種類に分類し、それぞれの取扱いを具体的に定めています。これにより、森林の状況に応じたきめ細やかな森林施業を行うとともに、多様な森林づくりに取り組んでいます。



複層伐（植栽型）実施箇所

例えば、スギやカラマツ等の人工林のうち公益的機能の確保のため非皆伐状態を維持すべき林分で、気象条件、林況、搬出条件等から複層林施業が可能な林分を「植栽型複層林施業群」とし、施業目標、施業方法、林分の成長段階に応じた間伐方法、複層林への誘導時期、伐採面積、伐採率、更新樹種、植栽本数、保育方法等について具体的に記載しています。

「管理経営の指針」は、HPに公表しておりますので、各地域の民有林における施業の参考としていただければ幸いです。



東北森林管理局HP
「管理経営の指針」

ご関心のある方は、計画課
(TEL:018-836-2206)へお問合せ下さい。

木材の成分と化学構造解析

秋田県立大学・木材高度加工研究所では、木材の化学構造に考慮した木材の利用にも取り組んでいます。建築・土木・家具など木材としての利用と異なり、紙のように木材成分を一部利用する場合には分離工程、利用工程で化学構造を考慮する必要があります。

木材の化学構造といわれて“?”と思った方が多いのではないのでしょうか?木材は様々な成分が含まれていますが、主要な成分としてセルロース、ヘミセルロース、リグニンが挙げられます(図1)。成分の利用で一番多いのは、紙などの利用で使われるセルロース・ヘミセルロースです。近年では、バイオリファイナリーと呼ばれるバイオマス成分分離し利用する技術が工業的にも学術的にも盛んに研究されており、分離だけでなく、いかに有用なものに変換するかということも重要です。これまで木材成分の化学構造解析には、破壊的アプローチ(成分の分解)により生じた分解物から元の構造を推定するという手法が数多く用いられてきましたが、近年では非破壊的アプローチとしてNMR分析が用いられるようになってきました。このような手法を用いた構造解析により、木材成分の変換を追跡することで、応用技術につながる基礎研究(バイオマスの化学修飾、化学結合を利用した新たな木材接着の開発など)をしています。

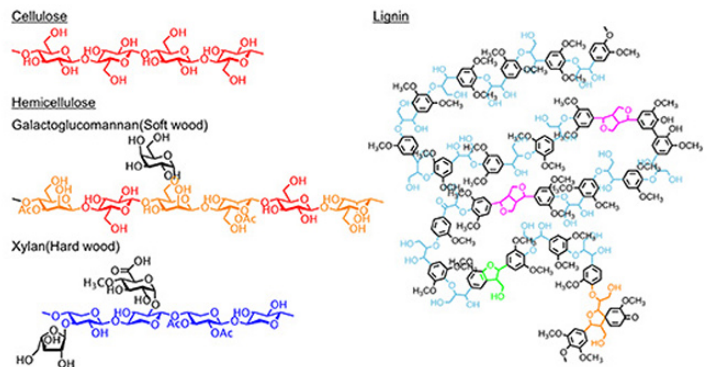


図1 木質バイオマスの主要構成成分
(セルロース、ヘミセルロース、リグニン)

ご関心がある方は秋田県立大学・木材高度加工研究所
(TEL:0185-52-6900)へお問合せ下さい。

森林や林業の仕事の魅力とは?!
林業業界で働く人と国家公務員「森林官」として
働く人の紹介です。

置賜地域の林業の担い手となるために

山形

山形県森林組合連合会

米沢地方森林組合 樋口 銀兵さん

当組合は、山形県の母なる川・最上川の最上流部に位置し、平成9年に米沢市、南陽市、高畠町、川西町の東南置賜の4つの森林組合が合併してできた森林組合です。

私は山形県農林大学校で2年間林業について学び、令和4年に当組合に入組し、現在2年目を迎えました。仕事内容は主に測量作業、森林調査、道具点検、伐倒作業における補助等です。



測量作業の様子

作業には危険が伴うこともありますが、事前ミーティングを入念に行い、リスクを洗い出し安全につながる対策を日々心掛けています。

置賜管内は、クマがスギの皮を根元から剥がしてしまい、そこから腐朽し倒木するクマ剥ぎ被害が多発しております。クマ剥ぎ被害を受けたスギは、商品としての価値を下げるだけでなく美しい森林風景を損なうこととなります。

そのような被害を軽減するために、スギにテープを巻く、忌避剤を塗るといった防除を行っていますが、完全に防ぐまでには至っておりません。

松くい虫やナラ枯れ等病害虫被害、クマ剥ぎ被害にどのように対処すべきか、この課題に対し、自分も手助けができるよう励んでいきたいと思えます。皆さんも林業の担い手となってみませんか。

秀峰岩手山の麓にある現場から

岩手

盛岡森林管理署雫石森林事務所

地域統括森林官 桑田 伸一さん

当事務所は、奥羽山系の山々を境に秋田県に接する岩手県雫石町にあり、岩手山をはじめ数多くの名山や温泉施設、3箇所のスキー場、玄武洞など、県内でも有数の観光地を抱えています。

雫石町は交通の便も良く、四季を通して県内外から多くの観光客や登山者が森林レクリエーションの場として管内の国有林を利用していることから、各山の山開きや高山植物盗掘パトロール、山岳遭難対策、特定外来生物（オオハンゴンソウ）駆除等の行事を通じ、関係機関、団体との繋がりが深い森林事務所となっています。



6月1日秋田駒ヶ岳山開きの様子

また、今年は4年ぶりに雫石町立中学校二年生5名を職場体験で受け入れ、森林の調査の仕方、国有林の境界管理などを体験してもらいました。森林管理署は木を伐採している所との認識があったようでしたが、植林や治山工事のことなども知ってもらえたようです。

東北森林管理局は福島を除く東北5県を管轄し、森林管理署・支署・現場第一線の森林事務所・治山事業所があります。転勤はありますが、県内外いろいろな地域の人たちとの出会いや文化を体験できることも魅力です。

国有林の自然の中で、地域へ貢献できる仕事を一緒にしてみませんか。

11月中旬

街を歩いて文学を学ぶ、きたかみ文学碑めぐり

10月1日(日)～12月24日(日)
北上市内に点在する「きたかみ文学碑」をめぐり句や詩に触れる
(岩手県/北上駅観光案内所)

樺細工館蔵品・寄託品展

10月7日(土)～1月28日(日)
常設展「樺細工名品展」に加え、樺細工館蔵品を展示
(秋田県/仙北市立角館樺細工伝承館)

北上市立博物館特別展「MEMORIES 記録と記憶の北上市」

10月21日(土)～12月24日(日)
開館50周年を迎えた特別展として博物館と北上市の歩みを振り返る
(岩手県/北上市立博物館)

天童市農業まつり

11月11日(土)
天童産のラ・フランスや天童牛、米、野菜の直売、豪華景品が当たるお楽しみグッズなども
(山形県/天童市)

HACHI フェスin大館

11月11日(土)～11月12日(日)
ハチ公生誕100年を記念したフェスティバルが開催される
(秋田県/大館市)

新・秋田の行事 in 大館2023

11月11日(土)～11月12日(日)
秋田県を代表する伝統芸能が一堂に会する新しい伝統芸能の祭典
(秋田県/大館市)

電動糸のこ教室

11月12日(日)
電動糸のこを使っての木工体験、子供も大人も楽しめる教室
(山形県/鳥海山「おもしろ自然塾」推進協議会)

日本一の大イチョウ「ビッグイェロー2023」

11月15日(水)～11月30日(木)
樹齢1,000年以上、幹まわり約22mの大イチョウをライトアップ
(青森県/深浦町)

深浦町森林講演会&演奏会

11月18日(土)
森林の魅力と木材活用の講演と森林をイメージしたフルート演奏
(青森県/深浦町)

大崎バルーンフェスティバル

11月18日(土)～11月19日(日)
色とりどりの熱気球が次々と大空に舞い上がり彩る
(宮城県/大崎市)

JAみやぎ仙南フェスティバル in 丸森

11月18日(土)～11月19日(日)
地場産の農産物や姉妹都市・北海道北見市端野町の特産品販売
(宮城県/JAみやぎ仙南丸森地区事業)

春蘭展

11月18日(土)～11月19日(日)
町内外の春蘭愛好家の作品を華麗に展示
(宮城県/道の駅「村田」物産交流センター)

朝日町産業まつり

11月18日(土)～11月19日(日)
町内企業の商品や農産物が集まり、餅まきなどイベントも開催
(山形県/朝日町産業まつり実行委員会)

第28回丸森ウォークラリー大会

11月19日(日)
台風災害からの復興に向かう姿や町内の景色を見ながら歩く
(宮城県/丸森町教育委員会生涯学習課)

11月下旬

新嘗祭

11月23日(木)
新嘗祭は農作物が順調に収穫できたことを感謝する祭り
(山形県/出羽三山神社)

遠野どべっこ祭り

11月25日(土)
ふるさと村の曲り家で「どべっこ」を飲みながら田舎料理を楽しむ
(岩手県/遠野ふるさと村)

まるごと大鰐秋の感謝祭

11月25日(土)～11月26日(日)
大鰐ならではのものを一同に集めたイベント
(青森県/まるごと大鰐実行委員会)

木工教室

11月26日(日)
県産材を使用したブックスタンドを作成
(青森県/平川市)

鮭・あわびまつり

11月26日(日)
あわびとり体験、海産物・農産物の販売など旬を贅沢に味わえる
(岩手県/田老観光イベント実行委員会)

12月上旬

Shibata Fantasy Illumination

12月1日(金)～12月30日(土)
船岡城址公園全体が光の花(イルミネーション)で包まれる
(宮城県/柴田町観光物産協会)

企画展「白神山地30周年を振り返る」

12月2日(土)～12月24日(日)
世界遺産登録当時～現在までの白神山地の歩みを振り返る企画展
(青森県/白神山地ビジターセンター)

阿武隈ライン舟下り「ナイトクルーズ」

12月2日(土)・12月9日(土)
丸森町の阿武隈ライン舟下りが「夜の舟下り」として開催
(宮城県/丸森町観光物産振興公社)

鹿角市民俗芸能フェスティバル

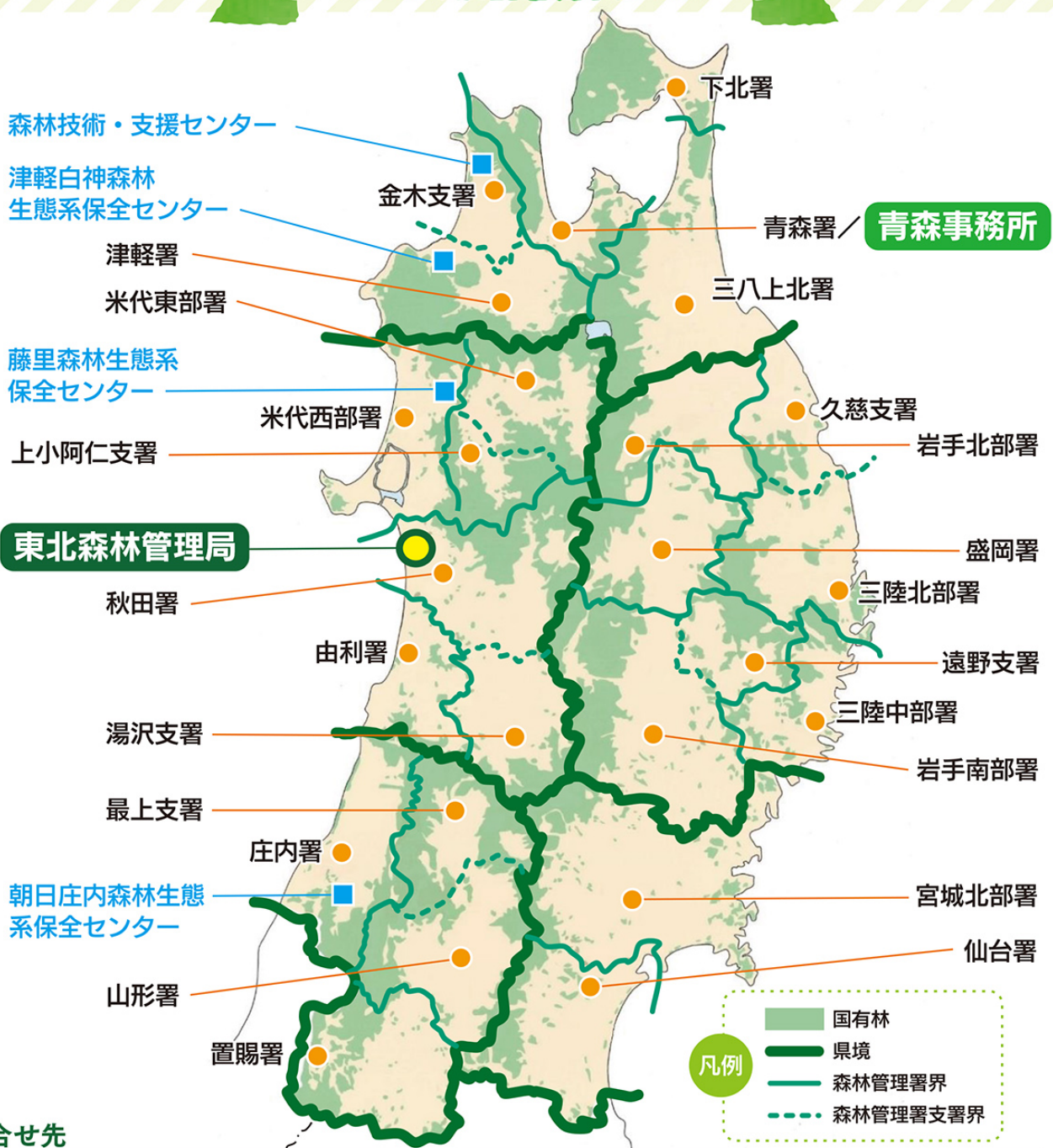
12月3日(日)
毛馬内の盆踊(風流踊)と岩手県の永井の大念仏剣舞が出演
(秋田県/鹿角市)

宇宙クリスマス

12月3日(日)
イルミネーションの飾りとH-IIロケット実物大模型のライトアップ
(宮城県/角田市スペースハウス・コスモハウス)

東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



お問合せ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117	宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800		仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115	秋田県	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131		上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131		米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511
	三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551		秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311
津軽白神センター	西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野70-82	☎0173-72-2931	湯沢支署		湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164	
森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里亀山540-8	☎0173-57-9022	由利署		由利本荘市水林439	☎0184-22-1076	
岩手県	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003	
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331	
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161	
	三陸中部署	大船渡市盛町字津野沢7-5	☎0192-26-2161	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122	
	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246	
	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131	朝日庄内センター	鶴岡市下名川字落合3	☎0235-58-1730	
遠野支署	遠野市東館町7-39	☎0198-62-2670					

東北森林管理局 〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16 ☎018-836-2014



No.236 ●発行日/令和5年11月 ●発行/東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。